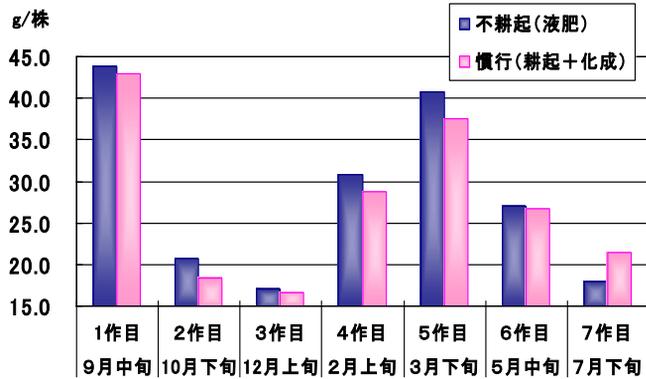


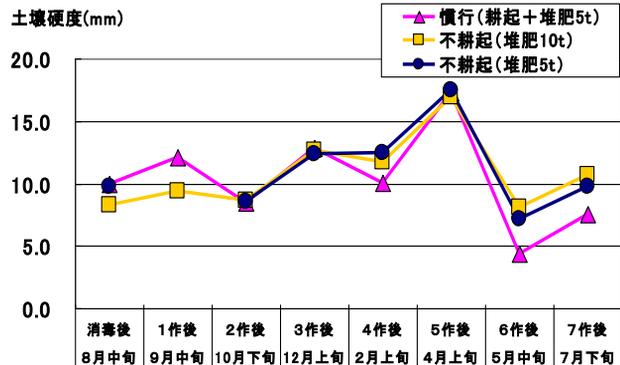
不耕起栽培で年7作のミズナ栽培が可能

(農林センター 園芸部)

ミズナで不耕起栽培と太陽熱消毒を組み合わせることで、雑草抑制効果が高く、年7作の栽培が可能となり、省力化が図れました。



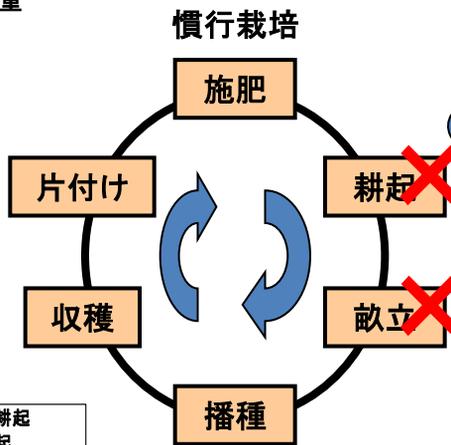
不耕起栽培と慣行栽培の株重



堆肥施用量と土壌硬度の推移

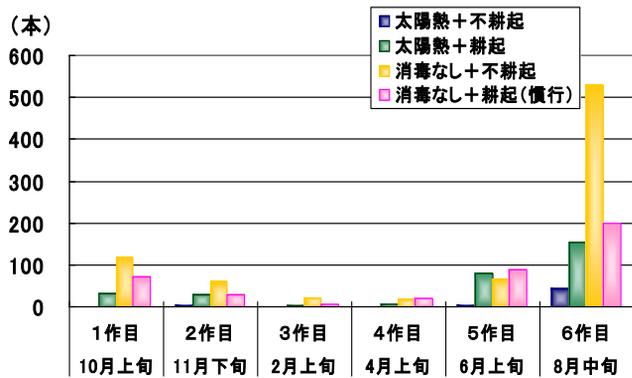
不耕起栽培で
生育良好

施肥は播種後に液肥10倍液(化学由来窒素7.5kg/10a)をかん注し、その後かん水する



不耕起栽培でも土壌は硬くならない

不耕起栽培では省略



雑草発生状況

慣行(消毒なし+耕起)



太陽熱+不耕起



削減

- 不耕起栽培では、液肥を基肥として施用することで慣行栽培に比べ生育は良くなります。
- 夏季に堆肥5t/10aを投入し2~3週間太陽熱消毒をすると、土壌は硬くならず、雑草の発生が慣行に比べ抑制できます。

- 播種機は従来のテープシーダー、点播播種機とも対応可能です。耕起・畝立工程が省略でき、抑草効果が高いため大幅な省力化が図れます。

- ハウス利用率の向上が可能です。追加投資もなく取り組みやすい技術です。